

平成27年度文部科学省

「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業

国際基準評価で質保証される実践臨床実習 平成27年度 活動概要



東京女子医科大学

事業責任者・学長

吉岡俊正

事業推進担当者・臨床実習コーディネーター

村崎かがり

事業の概要(1)

① 臨床実習体制の整備

内科系外科系臨床実習担当教員のワークショップを開催し、教育アウトカム、学内指導体制、実習における学生の役割、学生の診療行為参画・診療録記録、評価の理念を共有し、診療参加型、診療問題解決型の臨床実習を行なう体制を整える。

② 世界標準で質保証された教育の実践

新カリキュラムと医学部教育について行った世界医学教育連盟グローバルスタンダードに基づく自己点検評価を基に、国際的な医科大学認証評価専門家による外部評価、実地調査(国際的分野別認証評価者会議)の開催により、グローバルスタンダードへの適合を明らかにし、更なる教育改善への示唆を受けることにより世界標準で質保証された教育を行なう。

事業の概要(2)

③教育に関わる学内外の統一による教育の実践

学部教育アウトカムに臨床実習に関わる目標、医師としての基本的コンピテンシーを定め、目標を達成するための教育方法、評価方法、教育に関わる学内外の診療部門、診療施設の統一された教育実践を運営する。統一的運営のために、臨床実習コーディネーターを設置し、コーディネーターを中心に各科連携、合同FD、地域実習を行う。

④実践臨床実習とその評価法の構築と実践

診療参加型臨床実習と診療問題解決型臨床実習を構築し実践する。

臨床実習評価として、臨床実習ノート(e-Portfolio)、短時間臨床技能評価法(mini-CEX)、Advanced OSCEの評価を行い、教育改善を行う。

⑤地域実習の実践

第3学年での地域医療研修(3日間)実施。第5学年で長期間(2週間)実施。

⑥国際交流協定校への学生海外派遣の実践

第5学年で国際交流協定校への学生海外派遣を行い、国際的医療の臨床教育を実施する。

診療参加型臨床実習教育拡大

カリキュラムポリシーの明確化

- 臨床実習全体の能力目標設定(アウトカム設定)
- 各科での教育をアウトカムに対して共通化
- 卒後研修目標と連携

臨床実習拡大

- 1年からの臨床経験実習拡大
- 臨床実習早期開始

実践力開発のための臨床教育改良

- 第4学年での臨床推論力教育拡大
- 臨床実習における少人数ローテーションによる医療チーム参加
- 実習による臨床推論教育
- 地域医療教育の大幅拡大
- 電子カルテログインによる診療参加
- 選択実習拡大による能動学習促進
- 1から6学年の学年縦断「人間関係教育」カリキュラムによるプロフェッショナリズム涵養、チーム医療教育、女性医師としての使命感醸成

実践力修得の体系的評価

- アウトカムに基づく統一達成度評価
- 臨床実習ノートによるポートフォリオ評価

臨床実習コーディネーター、アソシエイトコーディネーターによる臨床教育の統括

- 内科系、外科系統合教育委員会による教員相互の教育情報交換と教育内容・評価の標準化
- 学外教育者(卒業生が中心)への教育目標、内容、評価の統一化

指導医FDの拡大

- 統一評価、指導法、ポートフォリオによるフィードバックの指導医講習会の実施

学生の実践力(コンピタンス)向上

教員の教育力向上

国際基準の教育アウトカム達成

医の実践力

- 臨床経験の大幅増大と経験に伴う技能修得
- 統一達成度評価・ポートフォリオにより基本的診療能力の達成度を学生自身が認識し臨床実習に参画
- 臨床推論力・臨床判断力・診療問題解決力向上
- 初期臨床研修へ連続した臨床能力開発
- 地域医療・プライマリ・ケア実践力向上

慈しむ心の姿勢

- 臨床実習・医療への能動的姿勢の定着
- 医師としての使命感、倫理観、プロフェッショナリズムの向上
- 全人的医人の形成
- 女性医師としての使命感とキャリア意識の向上
- チーム医療実践の意識定着
- 患者中心医療の意識定着

- 学生参画と指導医の確認による医療安全向上
- 学生の医療チーム参画による指導医・医師負担軽減
- ロールモデルとして教員の意識向上
- 卒後教育を含めた臨床教育ならびに評価能力向上
- 国際評価に基づく教育改良と教員の教育意識の向上を通じた教育の質的向上

事業計画の実施

年度	主な取り組み
平成24年度	平成24年10月、5カ国6名の外部評価者を招聘し、世界医学教育連盟グローバルスタンダードに基づく国際外部評価受審。 本外部評価の結果はインターネット上公開し、外部評価の実施記録を冊子として作成、公開 グローバルスタンダードに基づく自己点検評価を基にしたカリキュラムのさらなる検討 第4学年臨床実習(平成26年度開始)に向け、セグメント8教育委員会を設置 第5学年臨床実習(平成27年度開始)統括のため、セグメント9教育委員会を設置 学生用電子カルテ端末、学生用院内PHSの購入 国際交流協定校への学生派遣と受け入れ(継続中)
平成25年度	第4学年臨床実習(平成26年度開始)である、臨床基礎実習カリキュラムの完成 第5学年臨床実習(平成27年度開始)カリキュラムの検討と作成 臨床実習コーディネーターの選任とアソシエートコーディネーターの選任 問題発見解決能力の評価を意識したMCQ形式の試験の実施 臨床実習ログブック機能をweb上で整備、e-Portfolioとなる臨床医実習ノートの開発
平成26年度	臨床実習コーディネーターらによる臨床実習担当教員のワークショップとFDの開催 e-Portfolioである臨床実習ノート(β版)の稼働開始、臨床実習ノート(α版)開発 Advanced OSCEでは、症例プレゼンテーションの評価項目を新たに追加し、学生の臨床における総合的能力測定 地域医療実習カリキュラムを作成、全国に100カ所を越える医療施設を実習施設に認定
平成27年度	臨床実習コーディネーターらによる臨床実習担当教員のワークショップとFDの開催 臨床実習ノート(α版)の稼働開始、臨床実習ポートフォリオ評価を開始 第5学年地域実習(2週間)実施 e-Portfolioの導入、Advanced OSCE、mini-CEXと実施とフィードバック 第5学年での国外研修参加者選抜法の変更
平成28年度	臨床実践力を卒業時の教育アウトカムとする臨床実習体制の整備と維持を目指すワークショップの開催 セグメント8および9(第4学年後期および第5、6学年前期)での臨床教育の教育企画、実践、評価 診療参加型、診療問題解決型臨床実習の実践と臨床実習のe-Portfolioを用いた学生の臨床能力評価の推移の評価

国際基準評価で質保証される 実践臨床実習カリキュラム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4年次						セグメント8						
H26年						講義		学内試験	診療の基礎		内科外科各科実習	
						TBL テュートリアル			臨床基礎実習		CBT OSCE	

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5年次	セグメント9（一部を除き、4週間毎の診療参加型臨床実習を実施）											
H27年	地域 実習				夏期 休暇					統合 試験		

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
6年次	セグメント9						セグメント10					
H28年	地域 実習				夏期 休暇	卒業試験			補講			

東京女子医科大学

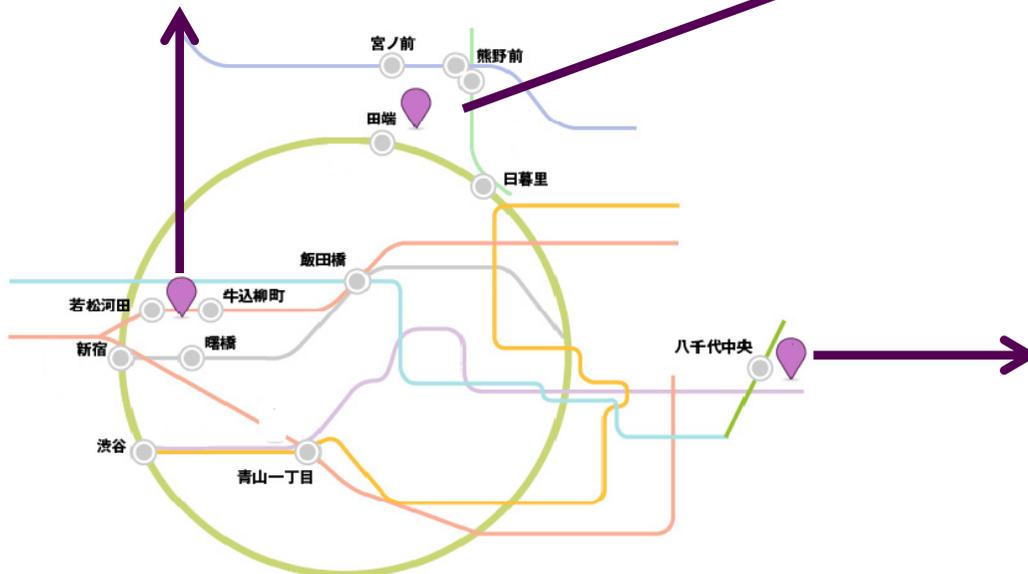
診療参加型臨床実習を実施する教育病院



東京女子医科大学病院



東京女子医科大学東医療センター



東京女子医科大学附属八千代医療センター

臨床実習FDの実施と成果

- 屋根瓦士式教育スキルアップのため、後期研修医からのFDを実施。
- FDは平成27年度は7回(4/14、4/15、5/25、7/11、12/21、2/13、3/16)各2~3時間実施、計260人が参加し、教員に広く臨床実習カリキュラムの意義、内容、評価法を周知した。また、参加者からの意見を臨床実習に反映するだけでなく、参加教員の指導に対する意識が向上した。
- 内科必修、外科必修では、診療科毎に教育内容が偏らないよう、指導医が集まり、臨床実習ノートデータから学習内容を振り返り確認し、教育内容の標準化を進め、S9カリキュラムの改善につながった。
- 病院毎の教育内容に偏りが無いよう、指導医が集まり、内科、外科のカリキュラム改善を参考にし、病院毎の特色は生かしながら、教育内容の標準化を進め新たなS9カリキュラムを作成した。

e-Portfolioとしての臨床実習ノート

- 従来筆記式の手帳であった臨床実習ノートを参考に、学内LANで記載、参照できるログブックを作成。
- ログブックをさらに発展させe-Portfolioとしての臨床実習ノートを開発、稼働。
 - 各科での実習のログブック、チェックリスト
 - 学習内容の記録と指導医からのフィードバック
 - レポートの提出、保存、閲覧
 - 評価表

e-Portfolioとしての臨床実習ノート



[ログアウト](#)



[ポータルトップへ](#)

村崎 かがり さん 2015年 09月 18日(金)

臨床実習ノートの照会・承認

指導教員（指導医）と学生とのリンク登録

臨床実習ノートの照会（責任者）

臨床実習履修項目チェックリスト（照会）

達成目標と評価&評価表の入力・照会

e-Portfolioとしての臨床実習ノート(例)

学生のノート記載とレポート提出

臨床実習ノートの入力 (詳細) *は必須入力です。

※30分以上経過すると自動ログアウトされますので、こまめに一時保存して下さい。

時間割	<input type="text"/>		
実習科名	<input type="text"/>		
実習期間(週)	<input type="text"/> 2015/09/24	～	<input type="text"/> 2015/10/03
実習症例	*年齢	性別	備考欄 (10文字まで)
	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> か月	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	<input type="text"/>
	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> か月	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	<input type="text"/>
実習症例の追記 (200文字、20行まで)	<input type="text"/>		
* 実習で学んだ技能 (1000文字、50行まで)	<input type="text"/>		
* 実習で学んだ知識 (1000文字、50行まで)	<input type="text"/>		
* 実習で学んだ態度 (1000文字、50行まで)	<input type="text"/>		
レポート添付	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/> ファイル削除	<input type="button" value="参照..."/>
※添付ファイルを参照ボタンから指定して下さい。 複数ファイルがある場合はフォルダごと圧縮して1ファイルとしてください。			
個別同意をいただいた医行為の実施	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり		

※30分以上経過すると自動ログアウトされますので、こまめに一時保存して下さい。

臨床実習ノート印刷

教員のフィードバックコメント記載

教員名

コメント

※30分以上経過すると自動ログアウトされますので、こまめに一時保存して下さい。

臨床実習ノート印刷

e-Portfolioとしての臨床実習ノート (チェックリスト)

臨床実習履修項目チェックリストの照会画面 *は必須入力です。

*時間割年度 年度

*学籍番号

*大項目

中項目	小項目	水準	見学日	実践日
1) 全身的診察	視診	水準 1	2015/05/12	2015/06/12
	打診	水準 1	2015/05/12	
	触診	水準 1	2015/05/19	2015/06/01
	聴診	水準 1	2015/04/17	2015/04/17
	脈拍	水準 1	2015/04/22	2015/04/22
	打鍵器	水準 1	2015/04/11	2015/04/11
	直腸 (肛門) 視診	水準 1	2015/04/25	
2) 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察	耳鏡	水準 1		
	鼻鏡	水準 1		
	検眼鏡	水準 1		
3) 産科的診察	内診	水準 1		
4) その他	その他			
	腫瘍 (体表)	水準 1	2015/04/11	2015/04/11
	囊胞 (体表)	水準 1		

見学日 実践日

その他の項目

e-Portfolioとしての臨床実習ノート(評価)

実習評価

☆学生評価表

※30分以上経過すると自動ログアウトされますので、こまめに一時保存して下さい。

I 出席の評価

全日程に出席した。 欠席（早退・離脱）などがあった。

	欠席(日)	早退(日)	離脱(日)
正当な理由あり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>
無断	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

II 知識、臨床技術、診療業務行動、学習態度

評価基準 5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:少しはできる 1:まだまだこれから

評価大項目	評価小項目	評価
1.基礎知識の量と理解度 知識の量と理解度	知識の量と理解度	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1
2.病歴聴取	順序立った面接；主訴の聞き取り、現病歴、その他の医学的情報、心理・社会的情報の聴取などの系統的に、あまり前後せずに順序立てて進めることができたか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1
	病歴聴取の詳細さと正確さ	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1
3.身体診療	診察技術	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1
4.診療録記載	病歴、身体所見の記載	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1
	情報の記載の詳細さと正確さ	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
	情報の記載は整理されていたか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
5.症例のプレゼンテーション	呈示内容は正確であったか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
	呈示内容は整理されていたか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
	診断に重要な情報もれなく呈示されていたか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
6.臨床推論	問題解決のため、必要なプランを立案したか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5
7.態度	信頼が置ける態度であったか	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5

教員からのフィードバックコメント

実習を通しての学生に対する具体的コメント

教員名	<input type="text"/>	登録日	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>		
教員名	<input type="text"/>	登録日	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>		

学生評価表印刷

学生評価表ダウンロード

臨床実習ノートの成果

e-Portfolioの効果

- 学生は実習を記録し、可視化することにより、自分の不足している知識や技能について自覚し、自己学習を深化させることができる。
- 教員は、診療科横断的な記録を見ることにより、個々の学生に対し必要な知識や技能を適切に提供できる。
- 学生、教員ともに実習を記録しデータベース化することができる。
- 臨床実習ノートに学生が記載した内容から、問題点を抽出、検討を加え、実習プログラムの改善を実施した。

Advanced OSCE評価法の改定

以下の項目を評価に追加

通常の評価項目に加え

- 診断について
 - － 必要な手技が正しく身についているか
 - － 蓋然性の高い疾患を適切にあげることができているか
 - － 侵襲度、患者の苦痛、費用対効果を考えたか
- 患者への説明について
 - － 適切な言葉遣い、専門用語を避け、相手の理解度の確認や苦痛にも配慮したか
 - － 検査のやり方、伴う侵襲について説明を行おうとしたか
 - － 費用についても説明しようとしたか
- 上級医への報告(上申)について
 - － 簡潔かつ正確、十分な内容であったか
 - － 鑑別診断を意識し、症状・所見を述べているか

今後新カリキュラムで学んだ学生との評価結果の比較を実施予定。

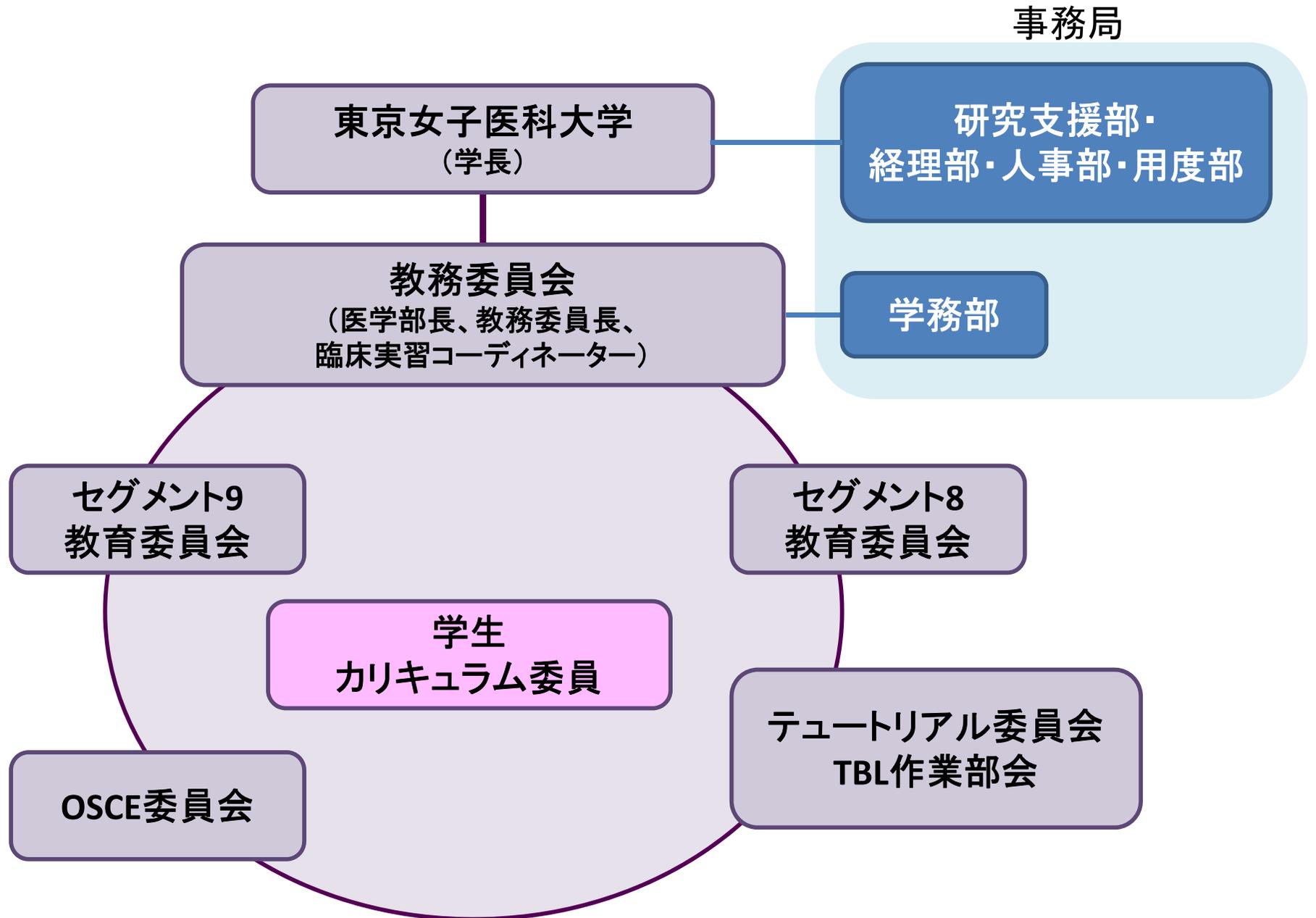
地域実習の実施と成果

- 第5学年全員を対象とした必修の実習であり、2週間継続して実施した。
- 地域実習受け入れ病院として認定した医療施設から学生が希望により選択した計53施設で実施した。
- 学生による地域実習レポートをまとめた地域実習報告を作成し刊行した。
- 指導医の評価コメントでは、本学学生が積極的に実習に参加しており、総合評価は全学生平均4.47(5点満点)と高い評価を受けた。

国際交流協定校への学生派遣と受け入れ

大学名	1 カーディフ大学 (旧ウエールズ医科大学)	2 ブリュッセル自由大学	3 ハワイ大学	4 上海交通大学医学院 (旧上海第二医科大学)	5 コロンビア大学	6 テキサス大学 (メモリアルハーマン病院)	7 中国医科大学	8 マルセイユ大学	9 梨花女子大学	10 マウントサイナイ医科大学	11 ブラウン大学	12 オデッサ医科大学	13 台北医学大学	14 ハジエテペ大学	
国名	英国	ベルギー	米国	中国	米国	米国	中国	フランス	韓国	米国	米国	ウクライナ	台湾	トルコ	
協定締結年度	1997	1999	2002	2002	2003	2003	2004	2005	2007	2008	2010	2012	2013	2013	
派遣学生数															派遣学生数合計
2011年度	5	3	1	1	2	1	2	2	3	2	1				23
2012年度	4	5	0	2	2	1	2	3	1	1	1				22
2013年度	5	3	1	2	2	1	0	0	0	2	1		2		19
2014年度	5	5	0	2	2	2	0	3	2	4	1	0	2	0	28
2015年度	5	4	1	0	2	0	1	3	1	4	1	0	2	0	24
受入学生数															受入学生数合計
2011年度	0	5	1	2	0		2	2	0		0				12
2012年度	3	5	0	2	0		2	3	0		1				16
2013年度	6	5	0	2	2	0	2	3	2	3	0	2	2		29
2014年度	0	5	0	2	1	0	2	3	0	4	3	0	2	2	24
2015年度	6	5	0	2	1	0	2	3	0	3	1	0	0	0	23

事業推進体制



今後の課題

- 臨床実習をさらに拡大したカリキュラムの詳細検討
- 学外での教育担当医療施設との連携強化
- 現在の臨床実習カリキュラムでの学生のコンピテンシーの評価

など

問い合わせ先

学務部医学部学務課

TEL: 03-3353-8112 (内線22114)

研究支援部教育研究資金課

TEL: 03-5269-7319 (内線8853)

医学教育学

TEL: 03-3353-8112 (内線30111)